



# 全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
編集:全難聴事務局  
電話:03(3225)5600  
FAX:03(3354)0046  
URL:<http://www.zenanchu.or.jp>  
E-Mail:zenancho@zenancho.or.jp

## ↑ 奈良大会報告書が発行されました。

第22回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 奈良 (まほろば大会、実行委員長 出口 明子さん) 大会報告集が配付されました。参加の方々には既にお手元に届いて読み終えた方も多くいらっしゃることでしょう。

出口実行委員長の刊行の言葉には大会開催を通してのご苦労や楽しかったことなど率直に感想を書かれています。奈良大会の開催、お疲れ様でした。

本冊子はA4版200頁近いもので分科会報告、全体会・ミニシンポジウム、記念講演、半日観光での薬師寺の法話を掲載しています。

加盟協会へも配付されていますので、協会内回覧でお読みください。参加者には、もちろん直接届いていますので、参加できなかった分科会の討議、講演内容等、お読みになれば、得をした気分になれること請け合いです。



## ↑ 耳マーク・筆談マークに関する2回目の協議を行う

4月16日、「手話・筆談マーク」についての第2回協議が開催されました。詳細は後日の議事録に譲りますが、簡単に概要を報告します。

1. 日時：4月16日 14:30-16:30 東京都障害者福祉会館
2. 参加者 全難聴：新谷理事長、佐野事務局長、黒田耳マーク部長、荒川副部長、林職員  
ろうあ連盟：長谷川副理事長、小椋理事、多田職員

### 3. 協議概要

- ①ろうあ連盟より、改めて「手話マーク・筆談マーク」制定趣旨の説明があった。
  - ・このマークはコミュニケーションマークであり、耳マークは使いにくいために新たなマークの制定をした。耳マークの趣旨・歴史は尊重し、これを排除しようとするものではない。
  - ・「筆談マーク」は聴覚障害者のみを対象とするものではなく、筆談を求める全ての人を対象とするマークである。
  - ・現在のところ、案内用図記号(ピクトグラム)とは位置付けていないが、今後はJISに登録を考えている。
  - ・ろうあ連盟としては、「手話マーク」・「筆談マーク」・「耳マーク」の3種類のマークの窓口設置などを求めていく。
- ②これに対して、全難聴よりは以下の通りの説明を行った。
  - ・「耳マーク」は聞こえの障害を表すシンボルマークである。

- ・シンボルマークであるので、マークを見ただけでは何のマークなのか、どのような支援を求めるのか、わからないのは当然である。そのために、マークの趣旨を説明する普及活動を行っており、求める支援は耳マークにメッセージを付けることで明確にしている。
  - ・「筆談マーク」の発表に伴い、地域によっては耳マークに代えて「筆談マーク」を置くところが出てきて混乱を招いている。
  - ・「手話マーク・筆談マーク」がコミュニケーションマークという説明はよくわからないが、ピクトグラムであれば経済産業省でオリパラ向けピクトグラムの検討が行われているので、その場で各団体が知恵を出して協議すべきである。
  - ・「手話マーク・筆談マーク」が聴覚障害のシンボルマークであるとするれば、耳マークの歴史・趣旨を尊重する、というろうあ連盟の説明と矛盾している。
- ③その後は、お互いの立場を繰り返し主張し合う流れとなったため、今回の協議は打ち切ることにしました。今後は、今回の協議の議事録を確認して、今後の協議をどう進めることにするか連絡を取り合うこととなります。

## 📌 新年度 厚生労働省・内閣府へあいさつに出向きました。

4月18日、新年度のあいさつのため、新谷理事長、佐野事務局長の両名が全要研三宅理事長、山岡事務局長共々厚労省・内閣府を訪問しました。

1. 内閣府では坂本参事官、松永参事官補佐、荒井参事官補佐、障害者施策担当河村様と小野様でした。坂本参事官はそのまま共生社会・障害者施策担当されています。
  - ・第4次障害者基本計画の議論は今年度。前回のように、情報アクセスの検討会を設けて議論をするかどうかは、障害者政策委員会での判断となる。いずれにしても情報アクセスは大きなテーマ。第3次より後退することはない。  
(福祉大会への後援のお願いに対して)
  - ・初めての依頼であれば、審査に時間がかかる。松永参事官補佐が担当するので、そちらから連絡する。2か月以上時間がかかるので、早めの申請を。また、厚労省が祝辞を出すなら、内閣府からの祝辞はない。
2. 厚労省では村山自立支援振興室長補佐、加藤室長補佐、引間係長、赤嶺担当に対応いただきました。
  - ・福祉大会への祝辞・来駕のお願い
  - ・障害者総合支援法の次回見直しについては、今回の見直しの実施状況を見据えて、見直し開始時期を判断する。
  - ・要約筆記関連の事業については、異動したばかりなので勉強させていただく。
  - ・生活協同組合からの助成事業について、村山室長補佐は引継ぎを受けていない模様。帰り際、吉田室長に11月の福祉大会には是非室長の参加をお願いした。

別件として、厚労省の介助者助成金制度に要約筆記を含める件が今年4月実施の約束がありましたので、障害者雇用対策課を訪問し、状況を確認しましたが詳細を知るものが不在で、調査の上ご連絡を頂くことになりました。24日に事務所に来訪されるとの連絡をいただいた。

## ↑ 厚労省障害者雇用対策課課長面談

---

障害者介助者委嘱助成金の件で、厚労省障害者雇用対策課課長以下 3 名が全難聴事務所に来られ面談しました。全要研三宅理事長が同席しました。

厚労省：尾崎障害者雇用対策課課長  
荒原課長補佐  
新田主任障害者雇用専門官

現在、障害者介助者委嘱助成金の対象範囲に手話通訳は含まれていますが要約筆記者が含まれていないのは不合理であり、数年前から要約筆記者を対象に含めるべく要望を繰り返して来たのはご承知の通りです。

本日の説明は、政府の 1 億総活躍施策の中で H30 年度より障害者雇用率の引き上げが検討されており、今年度秋に予定されている労働政策審議会障害者雇用部会で検討される雇用率引き上げを含む政省令の改正の中に要約筆記者委嘱を含めて、H30 年度実施にすることで納得をしてほしいというものでした。

これに対して、障害者の労働・雇用の分野の情報保障を充実されるための大切な制度保障なので、確実な事業実施の言質がほしい旨申し上げました。

結論として、「労働政策審議会障害者雇用部会の政省令改正答申内容に要約筆記者委嘱金を含めることを明記する、ということで了解しました。前課長の約束が簡単に反故になるのは容認できませんが、今回政省令改正案に織り込むことの約束がありましたので、この約束の実行を見守りたいと思います。

## ↑ 成田空港ユニバーサルデザイン推進委員会発足

---

観光立国・2020 オリパラを旗印に、政府の肝いりで成田空港をユニバーサルデザインをコンセプトに改修する計画がスタートしました。

4 月 26 日が第 1 回目の委員会で、委員は全難聴を入れて 7 名、その他分科会委員が 27 名、総勢 34 名の構成で、委員長は中央大学の秋山教授。当事者団体は、DPI・JD・日盲連、全日ろう連盟、他に松森果林さんなどが加わっています。

検討項目は、①個々の施設・サービスの見直し、②障害別の課題の検討を大項目に、聴覚障害者に対する情報保障などの項目がリストアップされています。

今後の予定は、

5 月 22 日（月） AM 委員会（第 1 回：趣旨説明）  
PM 分科会（第 1 回：空港視察①）  
27 日（土）終日 分科会（第 2 回：空港視察②）  
28 日（日）終日 分科会（第 3 回：空港視察③）

※分科会は以降適宜開催

8月上旬 委員会（第2回：基本計画（素案）の提示）

9月下旬 委員会（第3回：基本計画の決定）

となっています。

### 📌 理事の動き（4/1～4/30）

4月10日 JDF 国際拡大会議（新谷）

4月12日 新国立競技場整備事業施行期間ユニバーサルデザインワークショップ  
（新谷）

4月15日 平成29年桜を見る会（川場）

4月16日 第2回全日本ろうあ連盟との筆談マークに関する協議  
（新谷・佐野・黒田）

4月17日 中央本部法案策定WG（宿谷）

4月17日 平成28年度第3回JIS原案作成分科会（小川）

4月17日 JDF 権利条約推進委員会（国際部）

4月18日 内閣府・厚労省挨拶回り（新谷・佐野）

4月19日 要約筆記者指導者養成研修事業平成29年度第1回運営委員会（新谷）

4月24日 災害時情報保障委員会・学習会（小川）

4月24日 厚労省「障害者介助等助成金」説明（新谷）

4月25日 4団体連絡会（新谷・佐野）

4月26日 成田空港のUDを検討する委員会（新谷）

4月27日 JDF 幹事会（新谷）

4月29日 ACITA との懇談会（中川）

4月29・30日 要約筆記部員研修（佐野・宿谷・湯浅・宇田川・神矢）

### 📌 事務局報告

4月16日 第2回全日本ろうあ連盟との筆談マークに関する協議

4月28日 全難聴便り 107号発行

### 📌 《5月予定》

5月1日 障連協協議員総会

5月7日 第2次要約筆記WG

5月16日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大本部会議

5月22日 JDF 差別解消推進委員会

5月22日 JDF 権利条約推進委員会

5月26日 リハビリテーション協会第1回理事会

5月26日 メディア・アクセス・サポートセンター（MASC）第4回理事会

5月26日 第6回日本障害者協議会（JD）総会・政策会議

5月26日 監査会

5月27日 全難聴第1回理事会

5月30～31日 日身連ぎふ清流大会 平成29年度定時評議員会

5月31日 全難聴便り 108号発行

### 📌 《6月11日(日)開催の定期総会会場は東京都障害者福社会館です》